

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(1) 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料</p> <p>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化</p> <p>東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<sup>ほしうが</sup>について考察させる。</p>	<p>原始社会の変貌と古代国家形成への過程を東アジア情勢と関連させて理解させる。</p> <p>ア. 歴史と資料</p> <p>歴史への関心を高めるとともに、遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に理解し、文化財保護の重要性について認識させる。</p> <p>イ. 日本文化の黎明と古代国家の形成</p> <p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について意欲的に追求し、古代国家が形成される過程の背景について唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察させる。</p> <p>ウ. 古代国家の推移と社会の変化</p> <p>律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらし、武士の成長や進出につながることを理解し、中世社会の芽生えについて注目させる。</p>	

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(2) 中世の日本と東アジア</p> <p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア. 歴史の解釈 歴史の展開における諸事情の意味や意義を理解し、歴史的事象の推移や変化を追求し、相互の因果関係を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に理解させる。</p> <p>イ. 中世国家の形成 中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄、武士による土地支配権の掌握及び武家政権の確立を宋・元などとの関係と関連付けて理解し、政治の動向、国際関係・経済・文化への理解を深めさせる。</p> <p>ウ. 中世社会の展開 中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、庶民や武士の活動が活発化していく過程に着目し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解させる。</p>	

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(3) 近世の日本と世界</p>	<p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成</p> <p>ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容</p> <p>幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<p>近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア. 歴史の説明</p> <p>近世国家と社会や文化の特色についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解させる。</p> <p>イ. 近世国家の形成</p> <p>織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係を理解しその後の時代への影響について考察し、幕藩体制とのつながりに着目することがさせる。</p> <p>ウ. 産業経済の発展と幕藩体制の変容</p> <p>近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察し、近世の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化にも着目して考察させる。また、元禄期以降の庶民の文化や学問の発達及び商品経済浸透による地主・小作の関係による封建体制の動揺、19世紀後半以降の欧米の開国圧力への幕府の対応等も考えさせる。</p>

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(4) 近代 近代 日本 の 形 成 と 世 界</p>	<p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p> <p>国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア. 明治維新と立憲体制の成立</p> <p>国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察し、明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解させる。</p> <p>イ. 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった条約改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯、日露戦争の開戦に至る国際関係や経緯、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察させる。</p> <p>ウ. 近代産業の発展と近代文化</p> <p>国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、高い就学率を誇る教育の普及・拡充に着目して、国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢を考察し、伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点から理解させる。</p>

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(5) 両世界大戦期の日本と世界</p>	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア. 政党政治の発展と大衆社会の形成 第一次護憲運動による大正政変以降、政党勢力が国民統合の中心的役割を果たしていく過程を理解し、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を政治や社会運動の動向、都市の発達と文化の大衆化と関連付けて理解させる。</p> <p>イ. 第一次世界大戦と日本の経済・社会 第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察させる。</p> <p>ウ. 第二次世界大戦と日本 中国の動向など国際関係の変化、日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について理解し、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察でき、日中戦争・第二次世界大戦・太平洋戦争それぞれの性格、戦時下の経済と国民生活・文化など多面的・多角的に考察させる。</p>

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(6) 現代の日本と世界</p>	<p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会                      占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化                      戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述                      社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>ア. 現代日本の政治と国際社会                      GHQによる諸政策が、対日占領政策に基づいており、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を理解し、戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革、集大成となる日本国憲法制定の意義、連合国による占領が終結し、日本が独立した経緯を理解させる。</p> <p>イ. 経済の発展と国民生活の変化                      朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察するとともに消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察させる。</p> <p>ウ. 歴史の論述                      これからの世界と日本の在り方や世界の中の日本が世界の人々と協調し共存できる社会について歴史的な見方や考え方をもち、表現できるよう身につけさせる。</p>